

①10代はネットをどう使っているの？

No.1-1

僕、うまホ。インターネットの安全利用を呼びかけている県教育庁生涯学習課のPRキャラクター

●インターネットセキュリティPRキャラクター「うまホ」

秋田県教育委員会が進める「インターネットセキュリティ」の取組を広くPRする目的で、平成26年度にキャラクターデザインを募集しました。小・中学生から454点の応募があり、「みんなにスマートフォン等のネット機器をうまく使ってほしい」という思いが込められた、動物の「馬」と「スマホ」を組み合わせたキャラクター「うまホ」が採用されました。リーフレットやチラシ・ポスター、PRグッズや、羽後日産モーター株式会社提供の電気自動車へのラッピング等で、保護者等への啓発や取組の周知に広く活用されています。「うまホ」を通して「安全・安心なインターネット利用」について、問題の背景にある事象を児童・生徒が自ら考え、家庭でもこの問題について話し合うよい機会となることを期待しています。

うまホと学ぼう! ネット利用 ①



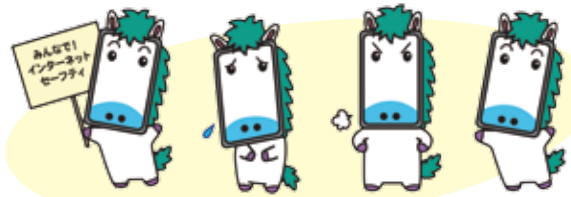
10代はネットをどう使っているの？

「発信・参加型」が主流
 の小学4年から中学3年を対象にした2014年度利用実態調査で、所持率は小学生80%、中学生76%。13年度より増えているよ。LINE(ライン)やツイッターで、思っていることを書き込んだり友達への書き込みコメントしたりする「発信・参加型」が主流。学校での会話の

うまホ 僕、うまホ。インターネットの安全利用を呼びかけている県教育庁生涯学習課のPRキャラクターだよ。早速質問。スマートフォンなど自分専用の通信機能付き端末を持っている10代は多いよね。ネットやスマホをどう使っているのかな？
 生涯学習課 そうだね、県内

延長で、家に帰っても友達とつながっているんだ。これに対して大人は「受信・閲覧型」が多いといわれているよ。
 子どものネット利用は当たり前前の時代。ただ、人間関係のトラブルや生活習慣の乱れを招くこともあるから要注意だ。ネットは社会や世界とつながる大事なツールだから、適切に使いこなす能力を身に付けていこう。
 ○ ○
 ネットを楽しく安全に使うために知っておきたいこと、家庭でできることは何だろう。うまホと一緒に学ぼう。
 (構成・土田絵美子)
 (水曜日掲載)

「発信・参加型」が主流



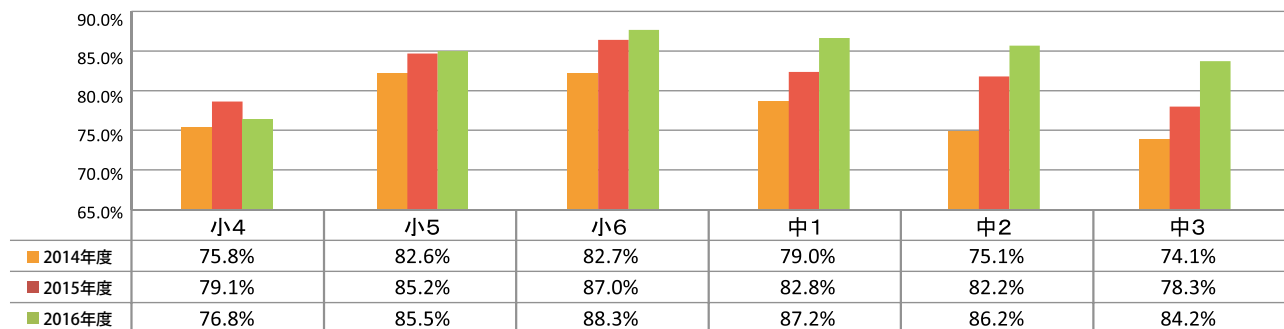
「うまホ」は、秋田県公式サイト「美の国あきたネット」からダウンロードできます。

No.1-2

県内の小学4年から中学3年を対象にした2014年度利用実態調査で、所持率は小学生80%、中学生76%

●自分専用の通信端末を持つ子どもたちが増えている

問い：あなたは自分専用の携帯電話、スマートフォン、通信機能付き端末を持っていますか。(児童生徒回答)



出所：平成28年度 携帯電話、スマートフォン、インターネット利用実態調査（児童生徒・保護者用調査） 秋田県教育庁義務教育課（2016.10月調査）